

茅ヶ崎市記者発表資料  
2022年2月21日  
企画部企画経営課 課長 坂田 哲  
電話0467(82)1111 内線2539

## コロナ後も見据えた市政運営 将来の都市像の実現を目指して －2022年度施政方針の概要－

佐藤光市長は、3月1日（火）の市議会定例会で、2022年度施政方針演説を行い、行政運営の基本方針を明らかにします。

### 1 施政方針の骨子

- 新型コロナへの対応といった過去に経験したことがないような危機から脱するために、生命と健康を守ることが市長としての最大の責務であると考え、行政資源を優先的に投入し、全力で取り組んできた。
- 今後も感染の大きな波が押し寄せることを想定し、しばらくは雲行きを見極めなければならない。
- 一方で、一日も早く日常を取り戻し、経済を活性化させるためには、新型コロナの脅威の克服や新しい生活様式の促進など、コロナ後を見据えた施策も進める必要がある。
- 2022年度は、コロナ禍の教訓を踏まえた事業、「暮らしの質」の向上に資する事業、まちの機能維持・強化に必要とされる事業の3つの柱を定めて事業を実施していく。
- 減り始めると思われていた本市の人口は増え続けており、住んでみたいと思われるまち、選ばれるまちになるための取り組みに力を入れていく。
- 本市に住んでいてよかったと誇らしく思っただけけるよう、工夫しながら、まちづくりを進める。
- 本市が抱えている課題、今後起こりうる課題を捉えて、必要な事業を適切に選択し、実施計画として策定する。

#### ◆2022年度に本市が特に力を入れて実施する事業

- 電子契約サービスの導入
- AIチャットボット利用推進事業
- 産婦健康診査事業
- デリバリー給食の実施に向けたモデル事業
- ごみ減量化推進事業
- 重層的支援体制整備事業

※ 2022年度の主要な事業は、施政方針17ページ以降の「令和4（2022）年度主要な事業の概要」を参照ください。

（裏面に続く）

## 2 予算の概要

---

### (1) 予算規模

予算総額	：	1464億0052万円	〔対前年度比約5.6%増〕
一般会計	：	765億5000万円	〔対前年度比約4.9%増〕
特別会計合計	：	698億5052万円	〔対前年度比約6.4%増〕

### (2) 歳入（一般会計）

- 歳入の根幹をなす市税は、①市民税においては新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等による打撃から徐々に回復傾向を見せ始めていること②また固定資産税においてはコロナ禍を踏まえて収入が減少した事業者の事業用家屋及び償却資産の課税標準額を据え置く特例が終了することなどに鑑み、前年度より27億920万4000円増の365億3120万7000円を計上。
- 地方交付税は、34億3500万円を計上。
- 市債は、臨時財政対策債を国の地方財政計画等をもとに試算し、前年度に比べ22億500万円減の11億7000万円を計上し、市債全体としては、28億4600万円減の28億7570万円を計上。